

令和8年度(2026年度)
教育委員会の事務の点検および評価報告書
(令和7年度(2025年度)対象)

令和8年(2026年)9月

九十九里町教育委員会

はじめに

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条に基づき、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられています。

九十九里町教育委員会では、その趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、毎年度、施策および事務事業に関する点検・評価を実施し、報告書を作成しています。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、令和 7 年度（2025 年度）に実施した教育委員会の施策、事務事業全般を対象とし、また、教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況など、教育委員会の活動そのものについても実施しました。

なお、評価の対象とする項目については、「第 5 次九十九里町総合計画」に掲げる施策を基本とし、その施策に関する事務事業を選定しました。

3 点検・評価の方法

点検・評価の視点

教育委員会の活動状況については、教育委員会会議の開催や教育委員の活動などの実績を検証し、今後の取組の方向を示しています。

また、各事業の個別評価では、次の4段階で評価をします。

評 価		
A	目標を達成できた、または目標達成に向けて順調に進んでいる	
	(評価基準)	・ 目標を達成した ・ 効果的で適切な取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて成果をあげている
B	概ね目標を達成できた、または目標達成に向けて進んでいる	
	(評価基準)	・ 概ね目標を達成した ・ 効果的な取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて一定の成果をあげている
C	取り組みを行っている、または目標達成に向けて多少の成果をあげている	
	(評価基準)	・ 取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて多少の成果をあげている
D	目標の達成ができなかった、または目標の達成は困難である	
	(評価基準)	・ 取り組みが行われていない ・ 目標達成に向けた成果はあがっていない

4 点検・評価結果の公表

本報告書は、町民への説明責任を果たすため、議会へ提出するとともに、教育委員会のホームページに掲載し公表します。

教育委員会の活動状況に関する点検・評価

1 教育委員の選任状況

教育長および教育委員は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育、文化などに関して識見を有する者を、町長が議会の同意を得て任命しています。

令和7年度の教育長および教育委員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日	任期（就任期間）
教育長	鈴木 弘	令和6年4月1日	令和7年10月1日～ 令和10年9月30日
教育長職務代理者	阿部倉 毅	令和4年10月1日	令和4年10月1日～ 令和8年9月30日
委 員	川崎 修	平成25年10月1日	令和3年10月1日～ 令和7年9月30日
委 員	関 留理子	令和2年10月1日	令和2年10月1日～ 令和10年9月30日
委 員	齋正 美恵子	令和6年3月5日	令和6年3月5日～ 令和10年3月4日
委 員	斉藤 慎悟	令和7年10月1日	令和7年10月1日～ 令和11年9月30日

2 教育委員活動状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日付		会議名等	会議場所等
4	4	町転入教職員合同着任式	町立中央公民館
	4	第1回定例教育委員会議	町立中央公民館
	9	九十九里中学校入学式	九十九里中学校
	10	町内小学校入学式	各小学校
	16	千葉県町村教育長協議会 定期総会	県教育会館
	21	山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	山武市教育委員会 会議室
	21	山武地区教育委員会連絡協議会理事会	山武市教育委員会 会議室
	23	千葉県教育委員会連絡協議会 第1回幹事会	流山市
5	1	第2回定例教育委員会議	町立中央公民館
	12	山武地区教育委員会連絡協議会総会	山武教育会館
	20	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会	流山市
	24	片貝小学校・豊海小学校運動会	片貝小学校・豊海小学校
	30	関東甲信越静市町村教育委員会 連合会 総会	長野県長野市
6	2	第3回定例教育委員会議	町立中央公民館
	2	九十九里中学校体育祭	九十九里中学校
7	1	第4回定例教育委員会議	町立中央公民館
	9	千葉県教育委員会連絡協議会 第2回幹事会	浦安市
	31	山武合同教育講演会	東金文化会館
8	1	第5回定例教育委員会議	町立中央公民館
	18	第75次 山武教育研究集会 (問題別部会)	各会場・オンライン
	19	第75次 山武教育研究集会 (教科別部会)	各会場・オンライン
9	1	第6回定例教育委員会議	町立中央公民館
	19	山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	山武市役所

	19	山武地区教育委員会連絡協議会理事会	山武市役所
	19	第3回 山武地区教育長協議会会議	山武市役所
	27	九十九里小学校運動会	九十九里小学校
10	1	第7回定例教育委員会議	町立中央公民館
	10	第2回 管内教育委員会教育長会議	東上総教育事務所
	20	第1回 教育委員学校訪問・給食試食会	九十九里小学校 片貝小学校
	27	第2回 教育委員学校訪問・給食試食会	豊海小学校 九十九里中学校
	30	九十九里中学校合唱コンクール	東金文化会館
11	4	第8回定例教育委員会議	町立中央公民館
	4	山武地区教育委員会連絡協議会 教育功労者表彰式	山武教育会館
	4	山武地区教育委員会連絡協議会研修会	山武教育会館
	6	第2回 山武教育研究会同一研修会	各会場
	6	千葉県町村教育長協議会 全体研修会・情報交換会	ポートプラザちば
	10	第37回若い芽のジョイントコンサート NHK こども音楽クラブ	九十九里中学校
	17	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第1回教育長・教育委員研修	町立中央公民館
12	1	第9回定例教育委員会議	町立中央公民館
1	8	第10回定例教育委員会議	町立中央公民館
	11	成人式～はたちのつどい～	町立中央公民館
	30	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第2回教育長・教育委員研修	浦安市文化会館
2	2	第11回定例教育委員会議	町立中央公民館
	22	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	東金アリーナ 片貝中央海岸
3	2	第12回定例教育委員会	町立中央公民館
	10	九十九里中学校卒業式	九十九里中学校
	17	町内小学校卒業式	各小学校
	23	令和8年度山武地区教育長協議会総会	山武郡市振興センター
	23	山武郡市広域行政組合教育委員会会議 定例会	山武郡市振興センター

3 教育委員会会議

(1) 会議の開催（令和7年4月～令和8年3月）

	定例会	臨時会	計
回数	12回	—	12回

(2) 審議内容

開催日	議案名	
4月定例会 (4月4日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	進学奨励費の認定について
	第3号	九十九里町教育大綱について
	第4号	令和7年度学校教育の方針について
	第5号	令和7年度学校教育の指針について
	第6号	令和7年度家庭教育の方針について
	第7号	令和7年度社会教育の方針について
5月定例会 (5月1日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	令和7年度教科用図書山武採択地区協議会規約及び協議会委員の承認について
6月定例会 (6月2日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	進学奨励費の取消について
	第3号	九十九里町教育要覧について
7月定例会 (7月1日)	—	
8月定例会 (8月1日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	九十九里町小・中学校入学祝い品支給事業実施基準について
	第3号	令和8年度使用教科用図書の採択について
9月定例会 (9月1日)	第1号	九十九里町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示の制定について
	第2号	山武地区教育委員会連絡協議会表彰者の推薦について
10月定例会 (10月1日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	九十九里町立統合小学校校舎建設・中学校校舎改築工事基本設計について
11月定例会 (11月4日)	—	
12月定例会 (12月1日)	—	
1月定例会	第1号	準要保護申請について

(1月8日)	第2号	その他
2月定例会 (2月2日)	第1号	九十九里町いじめ防止基本方針（案）について
	第2号	九十九里町いじめ問題対策連絡協議会等設置条例について
	第3号	九十九里町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について
3月定例会 (3月2日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	九十九里町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
	第3号	行政手続法に基づく聴聞及び弁明の機会の付与に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第4号	九十九里町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	第5号	九十九里町学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について
	第6号	九十九里町進学奨励費給付規則を廃止する規則の制定について
	第7号	九十九里町英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について
	第8号	学校における働き方改革プラン（案）について

各事業の評価結果

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	小中学生の基礎・基本の定着	担当係	学校教育係
評価年度 (R7年度) 取組内容	基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、主体的に学習に取り組む態度を養い、学力の定着を図ります。 【経過・結果】 基礎・基本的な学力向上については、各小中学校共通の課題です。そこで、町をあげて学力向上に取り組むために「町学校教育指導の指針」を小中校長会議で周知・確認するとともに、その重点項目である「確かな学力の定着」に向け、朝の読書の奨励や「家庭学習の手引き」を配付し、どのように自学をすればよいかの目安を示したり、家庭学習重点週間を設け、家庭学習の習慣化を図ったりする等、各学校の実態に応じて取り組めるように指導しています。 加えて、各小中学校に学習支援員を配置し、「個に応じた指導」の一層の充実を図りました。また全国学力学習状況調査や県標準学力調査の結果を分析し、各校において課題を把握し授業改善に努めるよう指導いたしました。 児童生徒にとって、わかりやすい授業を行うために、タブレット端末やデジタル黒板の効果的な活用をするよう指導しています。 【今後の方向性】 児童生徒の学習理解が深まるよう、ICTの活用や発問並びに単元計画の工夫などにより、確かな学力の向上および個別最適な学びを実現するとともに、引き続き家庭学習の習慣化に向けた取り組みも行ってまいります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	・自ら考え、課題を解決する力をつけるためのICT活用の効果的な方法を考え、指導に生かしてほしいと思う。 ・読書をする時間を朝設けることで、落ち着いて授業を受けられるようになり、良い取り組みだと思う。 ・小中学校共通の課題を明確にして、小中の共通実践につなげる取組は評価できる。今後ともつまずきに対する個に応じた指導を大切に、基礎学力の定着につなげてほしい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	ICT 機器を活用した情報教育の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	ICT 機器の特性を生かし、視覚、聴覚からの情報を学習に活用するなど、児童生徒にとってわかりやすく、親しみやすい授業を展開します。 【経過・結果】 授業での児童生徒たちへのタブレット端末操作の支援や教職員研修の講師として ICT 支援員を配置し ICT 機器の活用スキルの向上を図りました。これにより、教職員は、授業においてデジタル黒板や書画カメラの活用が進み、教科書や資料など分かりやすく提示したり、児童生徒の考えを全体に共有したりする等、様々な学習形態を工夫することができました。児童生徒においては、タブレット端末を使い、文字を入力する、調べる、まとめる、写真や動画を撮る等、I C T 活用能力が向上するとともに、学習意欲も高まりました。 【今後の方向性】 校務支援システム導入に伴い、若手や転入教職員を重点的に教職員の I C T 機器研修会を開催し、技能の向上を図ります。また、GIGA スクール構想に基づきタブレット端末の更新など適正な管理に努め情報教育の充実を図ります。		
指標名	教職員 ICT 機器研修会の参加数		
実績値	12 回		
目標値	5 回		
自己評価	A		
評価結果	・ ICT 機器の活用能力の向上が図られている。 ・ 研修会の参加数、目標を大きく上まわっていて評価できる。 ・ ICT 機器活用のための教職員研修の取組は、とても重要であり評価できる。今後とも ICT 機器を活用した効果的な授業実践のために努力していただきたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	外国語活動の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R7年度) 取組内容	外国語指導助手（ALT）を小中学校へ配置し外国語教育の充実を図ります。 【経過・結果】 小中学校の外国語教育において、児童生徒のコミュニケーション能力の育成、英語力の向上を目指し、ALT を町内の小中学校に配置しています。 小学校では担任と ALT が連携して、児童一人一人の学習状況に応じた授業を実施することで、児童が自信をもって外国語を話す機会が増えています。中学校では英語科教諭が ALT を活用し、専門的な知識や技能の向上に努めています。また、実用英語技能検定や山武郡市英語発表会の指導を行いました。幼少期からの英語教育の積み重ねが、学力の定着に繋がりました。 また、デジタル教科書を使用し、映像や音楽を効果的に用いる授業ができ、児童生徒の理解を促すことに繋がりました。 【今後の方向性】 ALT による英語指導は、英語力の向上、コミュニケーション能力の育成に大切な役割を担っていることから、今後も小中学校への配置を行い、英語力の確かな定着を目指します。また、小中学生の英語検定受検料の一部を補助し英語力及び学習意欲の向上を図ります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	・小学校では、特に楽しく学べる外国語活動をお願いしたい。 ・ALT のおかげで、小学生のうちは英語に親しみがもてて、良いが、中学になると英語が難しくなるためか、苦手と思う生徒が増えてしまうことが残念。 ・ALT の効果的な活用ができており評価できる。さらなる学力の向上のために、小中学校の連携を大切にしたい取組等も検討していただきたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 体験学習の推進

事業名	体験学習を重視した「生きる力」を育む総合的な学習の時間の推進	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	児童生徒の興味・関心をもとに社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、また自然体験を通しての観察・実験、見学や調査、発表や討論など、総合的に学習活動を推進します。 【経過・結果】 「学校教育の方針」の中の「ふるさとを愛する子の育成」に向け、ふるさと体験活動を推進しています。各校それぞれに、漁業を生かした「めざし作り体験」や「地引網体験」田園を生かした「米作り・餅つき体験」等、地域の環境を生かした体験活動を行い、これらの体験活動を通して、地域の産業に関心を持ち、地元への愛着が深まりました。 また、職場体験学習を実施し様々な産業に触れるとともに社会的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に努めました。 【今後の方向性】 児童生徒の「生きる力」を育むため、多様な活動による体験学習は重要であります。今後も地域学習を中心に見聞を広め、公衆道徳や集団生活のあり方などについて学ぶ有効な機会を設定し総合的な学習の時間を推進してまいります。		
指標名	体験学習の実施回数		
実績値	各学年 1 回		
目標値	各学年 1 回		
自己評価	A		
評価結果	・地域の特性を生かした体験的な活動は、意義ある活動なので、継続してほしい。 ・地域ならではの体験が出来て、とても良いと思う。 ・ふるさとの魅力に触れる体験学習は、「ふるさとを愛する子の育成」につながる取組であり評価できる。今後も九十九里町を愛する教育の推進をお願いしたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「豊かな心」の育成

事業名	「豊かな心」の育成を目指した 道徳教育の推進	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	児童生徒に豊かな人間性や社会性を育むため、道徳教育を行います。 【経過・結果】 「心の九十九里ルール」を周知し、規範意識の醸成や、学校・家庭・地域の連携が深まるように努めました。 自然体験学習やキャリア教育など、様々な校外学習の実践内容を学校と協議しながら進め、人・社会・自然との関わりについて学習をしました。また、ペットボトルキャップを集める「エコキャップ」活動、新聞・雑誌・ダンボール等を回収する「リサイクル」活動を勧め、持続可能な社会について考える機会を作りました。 また、美しい九十九里浜の海岸清掃にも取り組みました。 【今後の方向性】 発達段階に応じた体験や道徳教育、また関係機関と連携した人権教育などを継続し、豊かな情操と道徳心を養う教育を引き続き推進します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	・環境について考える良い活動がされていると思う。 ・リサイクル活動を通して、環境や社会について考えられ、とても良い活動だと思う。 ・「心の九十九里ルール」の周知等で、学校だけでなく、家庭・地域との連携を深めようとしている取組は評価できる。今後は、「心の九十九里ルール」がどこまで浸透しているのかを確認する機会をもち、さらなる家庭・地域等の連携による取組を推進していただきたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 特別支援教育の充実

事業名	就学指導と特別支援教育 の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	児童生徒の成長や多様なニーズに応じた適正な支援を推進します。 【経過・結果】 適切な就学指導に向け、医師や特別支援学校の教諭等で構成する教育支援委員会を年2回開催し、就学指導の充実を図りました。特に新入学児童については、小学校の教諭がこども園等を訪問し連携強化を図りました。 また、東上総教育事務所に特別支援アドバイザーの派遣を依頼し、児童生徒の自立活動の指導を充実できるよう全校での支援体制の構築や、保護者との合意形成への指導、授業のユニバーサルデザイン化を推進しました。 また、すべての小中学校に支援員を配置し学校活動全般に寄り添えるような支援体制の整備をしました。 その他、特別支援教育就学奨励費を支給し特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、経済的負担の軽減、就学の奨励を図りました。 【今後の方向性】 保護者、学校、児童生徒の相互理解のもと、児童生徒の一人一人のニーズに応じた適正な支援を行います。また小学校入学に備え、他部署と連携しこども園への訪問相談の実施や、就学时健康診断についてはその結果を支援体制に活かすなど、充実した組織体制を構築します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	・支援が必要な児童生徒への、適切な援助がなされていると思う。 ・今後も、一人一人が必要な支援を受けられる体制を続けていただきたい。 ・医師や特別支援学校の教諭等で構成する教育支援委員会の開催は、適切な就学支援につながる取組であり評価できる。今後とも特別支援を必要とする児童生徒を適切に見極め、保護者に対する丁寧な説明をお願いしたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教育相談の充実

事業名	教育相談の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	スクールカウンセラーや心の教育相談員の配置、訪問相談員による家庭訪問など、相談体制、支援体制を構築しています。 【経過・結果】 スクールカウンセラーの全校配置に加え、心の教育相談員を中学校に配置し、児童生徒、またその保護者に対する相談体制を構築しました。また、学期ごとに小中学校単位で長欠対策会議を開催し関係機関と連携を図る機会を作り、必要に応じてケース会議を開催するなど対応について協議しています。その他毎月、長欠日より「Assist-アシスト-」を発行し、長欠児童生徒の現状や課題の情報共有、対応等の情報発信を行いました。 なお、小中学校では、アンケートのほか教育相談週間を設け個々の面談を行いました。その他、相談箱の常設や、スクールカウンセラーの訪問日の周知に努めました。 【今後の方向性】 児童生徒が安心して登校できる環境作りのため、スクールカウンセラーや心の教育相談員の配置を継続します。また、東上総教育事務所に所属する専門的人材と連携し、児童生徒および家庭への相談・支援、教職員が必要に応じて専門機関への接続を助言できるような体制を作るよう指導してまいります。		
指標名	アンケートの実施回数		
実績値	6 回		
目標値	3 回		
自己評価	B		
評価結果	・外部機関との接続が、円滑に進むよう支援をお願いしたい。 ・今後も、アンケートをもとに、必要に応じて専門機関へつなげるように支援していただきたい。 ・全校にスクールカウンセラー等を配置し、子どもたちの悩みを解決する体制が整っており評価できる。今後も継続した配置をお願いしたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教職員に対する研修の充実

事業名	教職員の研修の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	教職員の資質向上、指導力の向上をめざし、教育研究活動や研修内容の充実を図ります。 【経過・結果】 授業改善や指導力の向上など、教職員が充実した教育研究に取り組めるよう、補助金を交付しその活動を支援いたしました。また、各学校の授業研究に指導主事を派遣し指導いたしました。 加えて、教職員の規範意識の向上や不祥事根絶について、校長会議の議題に毎回取り上げ、年間を通して協議しました。町の教育研究集会では東上総教育事務所管理指導主事より、不祥事根絶について講義いただき、町の教職員全体で、不祥事を起こさないという強い気持ちをもち、職務を遂行するよう意識化を図りました。また、教職員としての資質・能力の向上に努めました。 【今後の方向性】 教職員の経験年数に応じた研修を積極的に推進し、指導力向上を目指します。若年職員の資質向上については、県総合教育センターの出前授業や町教育委員会主催の若手育成研修を活用し、学級経営と学習指導について研修を行います。今後も町全体で教職員の資質能力の向上に努めていきます。		
指標名	町教育研究会 研修回数		
実績値	2 回		
目標値	2 回		
自己評価	B		
評価結果	・若年層教員の資質向上に向けた取組のさらなる充実を望む。 ・今後も研修を通して指導力向上を目指してほしい。 ・補助金の交付による研修会の実施だけでなく、校長会における不祥事根絶の協議会等、教職員の資質向上のために努力されており評価できる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 学校施設の適正な維持

事業名	学校施設の適正な維持	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	学校施設の補修修繕など老朽化対策と安全な環境作りのため適正な維持管理を実施します。 【経過・結果】 「九十九里町学校施設長寿命化計画」をもとに、学校の老朽化に対応するため、主に設備など必要な修繕を行うとともに、学校からの改善要望などを受け各種修繕工事を行いました。また、各小中学校理科室の空調設備の設置工事を行いました。 (片貝小学校) ・高架水槽本体漏水修繕 他 (豊海小学校) ・屋内運動場床修繕 他 (九十九里小学校) ・揚水ポンプ・ろ過ポンプ交換 他 (九十九里中学校) ・コンピュータ教室照明器具交換修繕 他 【今後の方向性】 学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場として重要な役割を担っていることから、引き続き計画的な維持管理を実施し、安全・安心な施設環境の整備を図ります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	・優先順位をつけた修繕が行われていると思う。 ・小学校は、統合もあるので、計画的な管理をして欲しいと思う。 ・「長寿命化計画」をもとに、学校の老朽化に対応しており評価できる。子どもたちが安全な学校生活を送ることができるよう、今後も施設の点検を大切にしてお応じていただきたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 地域に開かれた学校づくり

事業名	地域とともにある学校を実現する	担当係	学校教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	学校評価アンケートや学校関係者評価委員会での意見等を参考にしながら、適正な学校運営がなされるように指導、助言していきます。 【経過・結果】 各小中学校に対し、学校評価アンケートの実施とその集計、結果の分析の的確な実施、及び学校関係者評価委員会での意見等を学校運営に反映するよう指導いたしました。 また、学校評価アンケートの分析結果の自己評価結果シートをホームページで公表いたしました。学校の様子を地域に広め、地域から応援される学校づくりに努めます。そして、地域と共に歩む学校づくりに向けた取り組みを前進させました。 【今後の方向性】 引き続き児童生徒、保護者、地域の方々の声を受け止め、学校運営を改善し、日常の教育実践が向上するよう努めます。		
指標名	学校評価アンケートの実施回数		
実績値	各校 1 回		
目標値	各校 1 回		
自己評価	B		
評価結果	・地域とともに歩む学校であって欲しいと思う。 ・学校評価アンケート等を実施して、学校運営に反映する取組は評価できる。今後は、具体的にどのように改善したのかを公表するとともに、地域の力を借りる取組も検討してほしい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政策 子どもたちの生きる力を育む

施策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校のあり方についての検討	担当係	学校再編係
評価年度 (R7年度) 取組内容	令和12年度の小学校統合にあたり、子ども達にとってより良い教育環境の実現に向け、保護者、地域住民、学校関係者及び学識経験者からなる学校再編推進委員会を運営し、円滑な学校再編を推進する。 【経過・結果】 《学校再編推進委員会》 - 第7回会議（令和7年10月14日） 学校施設建設事業にて実施している設計業務において取りまとめた基本設計書（案）の報告を行い、意見聴取をした。また、統合小学校名の決定プロセス及び募集要項を協議した。 - 第8回会議（令和8年3月23日） 校名公募の実施及び基本設計書（案）の住民説明会・パブリックコメント結果の報告を行った。また、専門部会で取りまとめた学校再編に必要な検討内容及び検討スケジュールを決定した。 《学校再編推進委員会専門部会》 小学校統合に必要な多岐に渡る検討項目（校歌、教育課程、PTA組織及び通学方法など）の検討を進めるため、「再編準備部会」及び「学校運営部会」を運営し、学校再編推進の円滑化を図る。 - 第1回合同会議（令和8年1月26日） 専門部会での検討内容の抽出及び検討スケジュールについて協議を行い、意見を聴取した。 - 第2回合同会議（令和8年2月26日） 第1回会議での意見を基に検討内容の割振り及び検討スケジュール案を提示し、協議が整った。 【今後の方向性】 令和12年度の小学校統合に向け、学校再編推進委員会及び専門部会において、統合に必要な項目・課題を一つずつ整理しながら、子ども達にとってより良い教育環境を整備するため学校再編		

	を推進する。
指標名	学校再編推進委員会会議回数
実績値	2回
目標値	3回
自己評価	B
評価結果	・学校再編に向けた円滑な業務進行を期待する。 ・学校再編の会議数は目標より少ないが成果はあると思う。 ・小学校の統合に向けて様々な会議を企画運営し実現に向けて努力しており評価できる。難しい課題も多くあり大変だが、計画的に推進してほしい。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政策 子どもたちの生きる力を育む

施策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校施設建設事業	担当係	学校再編係
評価年度 (R7年度) 取組内容	「町学校再編計画」に基づき九十九里中学校施設内に新たに小・中学校校舎を建設し、片貝小学校、豊海小学校及び九十九里小学校の町立3小学校の統合を行う。 また、統合場所を九十九里中学校敷地内とすることで、津波・洪水の被災リスクの低減による安全・安心の確保や、小・中学校間の連携体制強化も併せて図る。 【経過・結果】 ≪設計業務（継続事業）≫ 契約期間：令和6年7月31日～令和8年9月30日 学校の構造や配置及びレイアウト等の大まかなデザインなどを基本設計書（案）として取りまとめ、住民説明会及びパブリックコメントを実施したうえで、策定した。 また、基本設計書を基に実施設計業務に着手した。 【今後の方向性】 昨今の建設コスト急騰の影響を受け、工事費が多大となることが懸念されるため、設計業者と課題を整理しながらコスト低減に努めるとともに、公立学校施設整備費負担金含め、より良い財源確保に努めます。		
指標名	学校施設建設事業の進捗		
実績値	—		
目標値	—		
自己評価	B		
評価結果	・建設コストの問題もあるが、何よりも児童生徒が安全で安心して学べる施設設備の充実を望む。 ・難しい問題だとは思いますが、より良い財源確保に努めていただきたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 家庭教育の推進

事業名	家庭教育推進事業	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	家庭教育学級をはじめ、児童・保護者のニーズにあった家庭教育学事業を支援します。		
	町内こども園、小学校及び中学校において、家庭や地域の教育力の向上を図ることを目的として開催する家庭教育学級への支援を実施します。		
	【経過・結果】		
	子どもと保護者が共に学ぶ機会を提供するため、こども園及び小学校にて家庭教育学級を開催しました。		
	但し、町開催の全体会は中止となりました。		
	家庭教育の向上のため、各家庭に対し情報提供を実施するとともに、各種研修等への参加を呼びかけました。		
	《実績》		
	全体会	中止	
	とようみこども園	4回	
	かたかいこども園	5回	
豊海小学校	3回		
片貝小学校	4回		
九十九里小学校	4回		
九十九里中学校	4回		
参加者 延べ保護者	686 人		
園児・児童	1,373 人	合計	2,059 人
内容 親子運動・防災教室・交通安全教室			
講演会 ほか			
	【今後の方向性】		
	家庭教育学級とは、家庭が本来果たすべき役割を見つめなおす機会になるよう、保護者自身が親の役割、子どもの心の理解など、家庭における教育について考え、深めていく学習の場であり、今後実施します。		
指標名	家庭教育学級開催数		

実績値	24 回
目標値	30 回
自己評価	B
評価結果	・ 今後も充実した活動になることを願う。 ・ 回数は目標に届いていないが成果は出ていると思う。 ・ 保護者が共通の研修を行い、子育てに関する情報を共有することは、とても有意義な取組であり評価できる。今後も、より多くの保護者が積極的に研修できる環境をつくっていただきたい。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	子ども会活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	各団体と連携協力し、活動の充実を図るとともに、地域の子どもの縦と横のつながりを深めます。育成者へ講習会や研修会への積極的な参加を促し、指導者としての資質向上を図ります。		
	【経過・結果】		
	子ども会活動の活性化を図るための事業を開催しました。例年、中学生以上のジュニアリーダーとの連携を強化しており、地域の子供達とのつながりの強化のため、指導者育成研修への参加を支援いたしました。		
	《実績》		
	お寺で遊ぼう（虫おくり）	6 名	
	見学ツアー（千葉工業大学）	17 名	
	子どもかるた大会	8 名	
	ポッチャ大会	8 名	
	【今後の方向性】		
	町内における子どもの数が激減しており、活動を維持できない単位子ども会が急増しています。今後、会の活動を維持していくためにも、地域全体で活動意欲を活性化できるような事業を計画・推進します。また、休止・解散した単位子ども会に所属していた児童についても引き続き参加できるよう連絡体制の強化を図ります。		
指標名	子ども会数の減少抑止		
実績値	12 団体		
目標値	15 団体		
自己評価	B		
評価結果	・単位子ども会だけの活動に限界がきている中、より広範囲での活動計画が必要であると考えます。・子ども会減少を止める事は難しいと思う。単位子ども会が無くなっても、町単位で活動できると良いと思う。・子どもたちの減少に伴い活動を維持できない地区のためにも、中学生以上のジュニアリーダーの育成及び指導者の育成は、とても評価できる。今後とも様々な工夫により、リーダーの育成を図っていただきたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	青少年活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	青少年相談員連絡協議会交付金。 活動：夜間パトロール、カーブミラー清掃、 相談員ツアー 【経過・結果】 青少年の健全な育成のため、見回り活動や体験活動を通じ、青少年を地域全体で見守る活動を推進します。 ・夜間パトロール 8 名 ・有害図書調査 8 名 ・カーブミラー清掃 延べ 14 名：160 箇所 1 回目 58 箇所、2 回目 102 箇所 ・青少年相談員ツアー 4 名 【今後の方向性】 青少年の健全な心身の育成のため、活動を実施するとともに見守り体制を強化します。 また、効果的な事業の企画・立案をし、地域での活動の活性化を図るため、関係者との協議を推進します。		
指標名	青少年相談員活動の実施回数		
実績値	5 回		
目標値	5 回		
自己評価	A		
評価結果	・青少年相談員の方々の活動等を評価する。 ・青少年相談員の活動を支えていてほしいと思う。 ・青少年を地域全体で見守る活動はとても重要な取組であり、評価できる。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	ジュニアリーダースクラブ 活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	各種行事の企画運営や研修会へ参加し、自己能力の向上を図るとともに人材の発掘を図ります。資格取得を促し、九十九里町だけでなく千葉県で活躍するリーダーの育成に努めます。 【経過・結果】 地域の児童生徒のリーダー育成のため、各種行事の企画運営や研修会への参加を行っているとともに、町子ども会行事の準備等についても協力を行っています。 また、新規の加入者確保のためのチラシ作成など推進活動を実施しました。 中学生：4 名、高校生：8 名 うち新規加入者数 1 名 初級研修 1 回開催（参加数：0 名） 中級研修 1 回開催（参加数：1 名） 上級研修 2 回開催（参加数：2 名） 【今後の方向性】 各種行事積極的に参加及び活動するとともに、活動報告やパンフレットの作成を継続的に実施し、新規加入者の加入促進に努めます。		
指標名	ジュニアリーダースクラブ活動参加者の増加		
実績値	1 名		
目標値	5 名		
自己評価	C		
評価結果	・今後も新規加入者増加に向けての取組に努めてほしい。 ・子どもの人数も減少しているため、リーダーの人材も少なくなり、厳しいと思う。 ・ジュニアリーダースクラブの活動は、将来の九十九里町を支える人材を育てる重要な取組だと思う。参加者の減少が気になるが、他市町の取組も参考にして、有意義な研修を企画していただきたい。		
評価	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	通学合宿の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	九十九里町通学合宿の開催。 【経過・結果】 異なる学校・世代の児童が共同生活をする中での体験活動を通して、自主性・社会性や協調性等を身に着けることを目的に実施しました。 対象 町内小学校4～6年生 期間 2泊3日 参加 34名(1回目19名、2回目15名) 【今後の方向性】 子どもたちの自主性・社会性や協調性を養うことと、地域全体で子どもを育てる意識の高揚を図るため、引き続き実施します。		
指標名	自主性・社会性・協調性の向上		
実績値	100%		
目標値	100%		
自己評価	A		
評価結果	・大変良い取組なので、継続を願う。 ・毎回人気の高い通学合宿、この先も続けてほしい。 ・多くの児童が参加しており、保護者や児童も高く評価している取組だと思う。今後も様々な体験を通して、自主性や社会性を身につけるきっかけづくりとなるよう継続をお願いしたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進体制の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	生涯学習推進協議会の組織・運営。 生涯学習推進大会の開催。 【経過・結果】 町民の学習機会の充実を推進するため、生涯学習推進大会を開催しました。 ・生涯学習推進協議会 2回開催 ・生涯学習推進大会 生涯学習実践発表 4 団体 講演会 【今後の方向性】 学習機会の充実化のため、生涯学習推進大会を開催し学習意欲の醸造を図るとともに、団体による活動発表の場を提供し、地域団体活動の活性化を図ります。		
指標名	事例発表団体数		
実績値	4 団体		
目標値	4 団体		
自己評価	A		
評価結果	・活動団体の発表機会を提供できることは良いことだと評価する。 ・今後も、活動の場として、大会の開催を続けてほしい。 ・協議会及び推進大会は、様々な団体の活性化につながる大切な取組だと思う。今後も多くの団体の取組を発表する機会をつくっていただきたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 郷土芸能の保存・継承

事業名	郷土芸能の保存・継承	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	郷土芸能の活性化に向けた支援と保存・伝承を推進します。 【経過・結果】 郷土芸能の保存・継承のため、その活動を発表できる場として町行事等に参加しました。 海開き 2 団体 元旦祭 1 団体 【今後の方向性】 本町内に伝承されている民族芸能は、日々練習を行うなか、各地区の例祭等、限られた場所で演じられています。 各組織においては、指導者・後継者不足が大きな問題となっていることから、今後の伝承活動に取り組む必要があります。 地域の郷土芸能の保存・継承及び活性化を図るため、継続して発表ができる環境を整備していきます。		
指標名	活動団体数		
実績値	9 団体		
目標値	9 団体		
自己評価	A		
評価結果	・指導者、後継者不足等の課題はあるが、地域文化の保存や継承のためにも継続を希望する。 ・郷土芸能を守る活動を支えてほしいと思う。 ・人口減少が進む九十九里町にとっては、後継者不足が大きな課題になっている。今後も郷土芸能の保存や継承のために、手厚いフォローをお願いしたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 文化財の保存・活用

事業名	文化財の保存・活用	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	伊能忠敬記念公園・文化財関係維持管理。 【経過・結果】 伊能忠敬記念公園については、月に 1 度、地元自治区の協力で清掃作業を行っており、適正な管理体制が構築されています。 また、より適切に利用できるよう施設の修繕を計画しました。 【今後の方向性】 文化財維持管理と地域住民の憩いの場として活用していくため、引き続き地元自治区と協力し、伊能忠敬記念公園の適正な管理に努めます。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	A		
評価結果	・伊能忠敬記念公園については、地域住民の協力のもと適正に管理されており評価できる。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	学校体育施設の開放	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	町内3小1中の学校体育施設を開放し、運動に親しむ環境を提供します。 活動団体の活動環境の改善を推進し、登録団体数の確保に努めます。 【経過・結果】 運動に親しむことのできる環境を作るため、学校体育施設の開放を行いました。 【今後の方向性】 町民の健康保持のため、施設利用促進を図ります。		
指標名	学校体育施設登録団体数		
実績値	37 団体		
目標値	41 団体		
自己評価	B		
評価結果	・施設の利用はよくできていると思う。 ・目標値には達していないが、成果は出ていると思う。 ・学校体育施設の活用は、地域住民の健康増進に大きく関わっているものと思われる。今後も継続した取組をお願いしたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	団体及び指導者の育成・強化	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	スポーツ教室の開催（バレーボール）。 【経過・結果】 各種スポーツへ講師を迎えスポーツ教室を開催し、競技人口の増加及び指導者の育成を図り、総合的な各種スポーツの活性化を図ることができました。 【今後の方向性】 各種スポーツの活性化を図るため、年1回のスポーツ教室を開催します。		
指標名	スポーツ教室開催回数		
実績値	1 回		
目標値	1 回		
自己評価	A		
評価結果	・今後も開催していただきたい。 ・スポーツ教室の開催、評価できる。 ・様々なスポーツの講師を迎えて、各種スポーツの活性化につながる取組は評価できる。今後はスポーツ教室を活用した指導者の育成にもつなげていただきたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	社会体育活動事業の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	山武郡市民スポーツ大会、スポーツ・レクリエーション祭、山武郡市民駅伝競走大会等各種スポーツ大会の開催。 【経過・結果】 レクリエーションやスポーツ大会を行うことにより、子どもから大人まで広く町民の皆様が運動に親しむ機会を設けています。 山武郡市民スポーツ大会 総合5位 232 名 2位：アマチュアゴルフ、ゲートボール、バレーボール(男子) 3位：野球、バレーボール(女子)、バドミントン(男子) グラウンドゴルフ、バスケットボール(女子) 町スポーツ・レクリエーション祭 ボッチャ 18 名、モルック 12 名 グラウンドゴルフ 30 名 山武郡市駅伝競走大会 総合 6 位 その他各種成人大会 【成人大会企画 専門部・協会】 (開催) ゴルフ(春)53 名、ゴルフ(秋)51 名 (中止) 野球(春・秋)、バレーボール(春・秋)、バスケットボール スポーツフェスティバル 中止 【今後の方向性】 町民の健康保持のため、スポーツ・レクリエーション活動の振興や普及に努めるとともに、実践の場として各種スポーツ大会等を開催します。		

	また、各成人大会を自主運営できるよう、各専門部・協会を支援します。
指標名	社会体育事業参加者数
実績値	411 名
目標値	1,350 名
自己評価	C
評価結果	・参加者数の減少は人口減少との関連上仕方のない側面があるが、スポーツの振興は今後も継続した取組をお願いしたい。 ・社会体育事業は、町民の健康増進につながる大切な事業だと思う。今後も積極的に参加してもらえるように周知していただきたい。また、目標値と実績値に大きな差があるのが気になる。各種大会で何名の参加を見越しているのかを再検討して、数値の設定をする必要がある。
評価	C

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	スポーツ協会加盟団体の活動支援	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	九十九里町スポーツ協会補助金。 【経過・結果】 町におけるスポーツ活動の中心である、スポーツ協会へ補助金を交付し、各種スポーツ団体主催による大会や研修、講習会開催時の支援を行いました。 【今後の方向性】 各種スポーツ団体の育成・強化に努め、各種大会の自主運営、指導者の育成、資質向上を図ります。		
指標名	スポーツ協会加盟団体数		
実績値	18 団体		
目標値	19 団体		
自己評価	B		
評価結果	・目標は達成できていないが、成果は出ていると思う。 ・補助金制度は、スポーツ活動を充実させるために重要な役割を担っている。今後も継続した取組をお願いしたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ施設の維持・改修

事業名	野球場の利用促進	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	スポーツの場として有効活用できるように促進するとともに、適切な維持管理をします。 【経過・結果】 野球場施設の適正管理のため、スポーツトラクターの修繕を実施したほか、芝生への土壌処理剤を散布しました。 【今後の方向性】 施設を適正且つ安全に利用できるよう、定期の整備工事を実施していきます。		
指標名	野球場年間累計利用団体数		
実績値	169 団体		
目標値	170 団体		
自己評価	B		
評価結果	・利用団体が安心して使用できるよう維持管理を願う。 ・今後も定期整備を実施し、安全に利用できるようにしていただきたい。 ・野球場については適正管理がされており評価できる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 海辺のスポーツ環境づくり

事業名	海岸スポーツ推進	担当係	社会教育係
評価年度 (R7 年度) 取組内容	サーフィンスchoolの開催。 【経過・結果】 海岸における活動推進と、子ども達が自然に触れあいながら学ぶ場を提供するため、日本サーフィン連盟の協力のもと、サーフィンスchoolを開催しました。 また、協会との協議を実施し、ビーチクリーン作業などを取り入れ、海岸の景観改善、海洋生態系保全やゴミ問題の意識向上に努めました。 第1回（片貝中央海岸）：2名 第2回（片貝中央海岸）：2名 【今後の方向性】 参加者の健康・安全に留意しつつ、今後も企画・開催していきます。 また、日本サーフィン連盟と協力体制を拡充し、海岸における活動推進を図ります。		
指標名	海岸を活用したスポーツ事業の実施		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価結果	・九十九里の自然を生かした活動を評価する。今後は、子ども達が恐怖心を抱くことなく、気軽に取り組めるよう配慮がなされると、参加者数の増加につながると思う。 ・目標の回数は達成しているが、R7年度、参加人数が1回目、2回目ともに、2名しかいなかったことが残念。R8年度は前年度に比べて参加者が増加傾向にあるとのことなので、サーフィンスchoolも定着しつつあるのかなと思う。 ・九十九里町ならではの取組は評価できる。さらなる周知により、参加者数の増加につなげてほしい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R7 年度) 取組内容	地域の実情や課題に応じた各種講座を開催し、より多くの町民が参加でき、余暇の活動や生涯学習の推進のため幅広い学習機会の場を提供する。また、講座終了後は、自主的に継続して活動できるように運営支援に努め同好会への移行を図ります。		
	生涯学習を目的とした各種講座を企画開催し、広報やHPにより広く住民に周知する。住民の余暇の活用及び生涯学習の推進による学びやふれあいの場を提供します。		
	【経過・結果】 (公民館活動) 生涯学習推進の場として、公民館を開放し学習機会を提供しました。		
	・町主催講座受講者数 健康ヨガ教室 (10回開催) 受講者31人 津軽三味線民謡教室 (10回開催) 受講者13人 リズム体操教室 (10回開催) 受講者29人 つまみかんざし教室 (10回開催) 受講者11人 ※町主催講座から自主同好会へ移行。 (リズム体操・津軽三味線)		
	・公民館利用状況 各教室・同好会 637回 7,206人 学校・行政関係 461回 10,900人 その他 39回 968人 合計 1,137回 19,074人 (図書室) ・開室日数 276日、入室者数 4,078人 貸出者数2,259人、蔵書冊数22,390冊、		

	貸出冊数3, 963冊、1日平均貸出し冊数14冊 【今後の方向性】 昨今は、人口減少の影響から、受講者数は年々減少傾向にありますが、町民のニーズに合わせた魅力ある講座を主催し、受講しやすい環境の整備と情報発信に努めます。 また、継続的な学習機会を提供するため、町主催講座修了後においても、自主的な活動ができるように運営支援に努め、同好会への移行を推進します。
指標名	講座受講者の参加人数
現状値	84人
目標値	100人
自己評価	B
評価結果	・今後も、町民のニーズに合わせた講座の開催を希望する。 ・今後も魅力ある講座を主催していただきたい。 ・各種講座の企画運営により、町民の方々の生きがいにつながっている。今後も継続した支援をお願いしたい。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進団体支援事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R7年度) 取組内容	文化団体連絡協議会（参加団体）への支援 【経過・結果】 公民館等で実施されている各種講座・同好会が連携を図り、文化祭等各種事業実施の際の円滑化を図るとともに、町民文化事業の推進母体として活動しました。 また、各団体の活動内容の周知や会員募集のため、会報を全世帯に配布し、団体活動の周知や会員の募集に努めました。 （文化団体連絡協議会参加団体数） 19団体 【今後の方向性】 既存団体の高齢化により、維持が困難な団体が増えています。 このことから、主催講座等から、同好会等に移行した団体に対し、文化団体連絡協議会への加入を働きかけるとともに、会報の発行やHPを活用し、広く文化団体連絡協議会への加入を呼びかけ、加入団体数の充実を図ります。		
指標名	文化活動団体への支援		
現状値	19団体		
目標値	30団体		
自己評価	B		
評価結果	・一定の成果は出ていると思う。 ・生涯学習充実のためには、団体への様々な支援が必要となる。今後も継続した支援をお願いしたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習環境の整備

事業名	生涯学習施設整備事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R7年度) 取組内容	施設に不具合があった際に保全を行う「事後保全」型の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換を目指します。また、劣化・損傷が軽微な早期段階で把握し修繕を行うことで、劣化・損傷の進行を事前に防止し、修繕にかかる費用を縮減します。 【経過・結果】 主な修繕箇所 ロビー照明のLED化、ロビー・講堂の誘導灯のLED化、ロビー空調機修繕、浄化槽原水ポンプ更新、屋内消火栓設備修繕、2・3階通路Pタイル修繕、講義室ブラインド更新等 主な工事箇所 屋上防水工事、非常用放送設備更新工事 【今後の方向性】 施設の点検や専門業者の点検等を基に、施設の老朽化に伴う修繕計画を策定し、利用者の安全を最優先事項として利便性の向上に努めるほか、将来的な維持管理経費の縮減が図れるよう計画的な施設の保全に努めます。		
指標名	-		
現状値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	・「予防保全型」の安全点検は、利用者の安全な利用のためにも重要な取組であり評価できる。今後も計画的な安全点検をお願いしたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 芸術文化活動の推進

事業名	芸術文化活動推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R7年度) 取組内容	公民館等で実施をされている各種講座・同好会が連携を図り、文化祭等各種事業実施の際の円滑化を図るため、文化団体連絡協議会を町民文化事業の推進母体として活用し、一般参加者も含め、文化、学習事業の推進を図り、活動の成果を発表する機会を創ります。 【経過・結果】 参加団体数 31 団体 町民文化祭 芸能発表（10/26）、作品展示発表（11/1～11/3まで）を行いました。 【今後の方向性】 今後も文化祭を開催し、学習の成果を発表する場を提供する。 （作品展示発表及び芸能発表）		
指標名	町民文化祭参加団体数		
現状値	開催（31 団体）		
目標値	30 団体		
自己評価	A		
評価結果	・一定の成果が出ていると思う。継続開催を希望する。 ・文化祭で成果を発表する場を、今後も提供してほしい。 ・各種講座や同好会の活動が、町民文化祭の発表につながっており、評価できる。今後も継続した支援をお願いしたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食事業のあり方の検討	担当係	学校給食係
評価年度 (R7年度) 取組内容	学校給食センター運営委員会を軸として、意見交換を行い、給食事業及び施設の方向性を検討します。 【経過・結果】 学校給食に対する理解を深めるとともに、子どもの「食育」を推進するため、教育委員による試食会を行いました。 また、学校給食センターの運営を適正かつ円滑にするため、運営委員会を2回開催しました。給食事業特別会計の予算・決算など慎重審議を行い、給食事業の安定に向け取り組みを進めました。 【今後の方向性】 児童、生徒にとってより良い給食事業及び施設のあり方を、学校給食センター運営委員会を軸として進めてまいります。		
指標名	学校給食センター運営委員会会議回数		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価結果	・これからも、より良い給食事業をお願いしたい。 ・運営委員会会議を計画的に開催し、学校給食センターの運営の適正化を図っており評価できる。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	安全・安心な学校給食の提供	担当係	学校給食係
評価年度 (R7年度) 取組内容	安全安心な学校給食を提供します。 日常点検・定期点検による機器の故障等の事故防止と迅速な修繕を行うとともに計画的な調理機器等の入替えを行います。 【経過・結果】 給食調理・配送の委託業者、栄養士、町職員との連携を密にするとともに、提供する食材の管理や調理員の体調、調理過程、機器、配送に至るまで、毎日の記録と点検を実施し安全な給食の提供に努めました。 また、調理機器等の修繕及び、衛生管理上不適合、不具合な設備等の修繕を実施しました。 ・配食日数 年間193日 ・配食数 日平均691食 ・主な修繕 排水処理施設：浄化槽ばっ気槽、水中ポンプ修繕 調理機器：食器・食缶洗浄機修繕 【今後の方向性】 給食の安全を確保するため、食材の品質や衛生管理体制の徹底を図り、学校給食センター施設および調理機器等の日常点検や保守点検により判明した不具合や耐用年数を超える調理機器等の修繕を計画的に行い、児童生徒に安全安心な給食の提供に努めます。		
指標名	事故による給食停止日数		
実績値	0日		
目標値	0日		
自己評価	A		
評価結果	・事故なく、安全安心な給食が提供できていることは素晴らしい。 ・計画的に点検が実施されており、事故ゼロの実績は評価できる。 今後も継続した点検活動をお願いしたい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食費補助事業（学校給食費無償化）	担当係	学校給食係
評価年度 (R7年度) 取組内容	保護者の経済的負担を軽減し教育環境の充実や子育て支援のため学校給食費補助事業に取り組みます。 【経過・結果】 令和5年1月から第三子以降の義務教育期間における町立小・中学校の児童・生徒の学校給食費無償化を実施、また、令和6年1月から町内在住の公立小中学校及び特別支援学校等に在籍する児童・生徒の学校給食費を完全無償化しました。 ≪第三子以降学校給食費減免≫ ・該当者 93名（84世帯） ・減免額 4,562,350円 ≪学校給食費完全無償化≫ ・該当者 536名（小学生317名・中学生219名） ・補助金額 26,362,830円 【今後の方向性】 学校給食費の完全無償化について引き続き取り組み、教育環境の充実を図ってまいります。		
指標名	—		
実績値	—		
目標値	—		
自己評価	A		
評価結果	・給食費の完全無償化は大いに評価できる。 ・保護者負担の軽減により、どの児童生徒も安心して学校給食をとることができており評価できる。今後も継続した取組をお願いしたい。		
評価	A		